

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 60代	右足底皮膚 潰瘍，創感染 (発熱)	3g 19日間	<p>薬剤性過敏症症候群 (DIHS) 疑い</p> <p>投与開始日 創感染に対し，本剤1.5g×2/日，セファゾリンナトリウム1g/日 (11日間)，生理食塩液50mL×2/日 (19日間) の投与開始</p> <p>投与5日目 発熱に対し，ロキソプロフェンナトリウム水和物60mg/日 (19日間)，ジクロフェナクナトリウム50mg/日 (17日間) の投与開始</p> <p>投与12日目 セフメタゾールナトリウム1gを1回投与し，フロモキシセフナトリウム1g×2/日 (8日間) を投与開始</p> <p>投与19日目 (投与中止日) 全身に皮疹が出現。38.4℃の発熱，右鼠径，左鎖骨窩リンパ節腫脹あり。 オロパタジン塩酸塩口腔内崩壊錠10mg，d-クロロフェニラミンマレイン酸塩錠6mg，ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステル軟膏の投与開始</p> <p>投与中止2日後 プレドニゾロン錠30mg内服開始</p> <p>投与中止5日後 プレドニゾロン錠を40mgに増量</p> <p>投与中止6日後 ステロイドパルス開始 (3日間)，メチルプレドニゾロン1000mg</p> <p>投与中止7日後 皮疹消退傾向となった。</p> <p>投与中止41日後 薬剤リンパ球刺激試験 (DLST) にて，本剤陽性 (SI: 868%)</p> <p>投与中止62日後 皮膚科医診断：DIHS疑い</p>

臨床検査値

	投与 開始日	投与中止 3日後	投与中止 6日後	投与中止 7日後	投与中止 20日後
白血球数 (/mm ³)	17,200	16,870	—	28,880	—
好酸球 (%)	0.9	2.7	—	0.2	—
AST (GOT) (IU/L)	21	31	—	19	—
ALT (GPT) (IU/L)	29	39	—	39	—
Al-P (IU/L)	304	194	—	192	—
LDH (IU/L)	—	489	—	220	—
γ-GTP (IU/L)	—	30	—	26	—
総ビリルビン (mg/dL)	—	0.4	—	0.4	—
CRP (mg/dL)	6.24	9.69	—	0.79	—
BUN (mg/dL)	13	30	—	4.3	—
血清クレアチニン (mg/dL)	0.69	1.52	—	0.95	—
尿蛋白	—	(2+)	—	—	—
HHV-6 IgG	—	—	10	—	640

併用薬：セファゾリンナトリウム，生理食塩液，ロキソプロフェンナトリウム水和物，ジクロフェナクナトリウム，セフメタゾールナトリウム，フロモキシセフナトリウム